うそ電話詐欺にご注意ください

周南警察署より同窓会事務局を通じて注意喚起のお願いがありました。

現在、山口県内各地で同窓会名簿を悪用し、子どもの名前をかたって実家に電話をかけ現金等をだまし取る詐欺が急増しています。

犯人は子どもの名前を名乗るだけでなく警察官や弁護士などを装い、現金だけでなくキャッシュカードや電子マネーカードなどをだまし取ろうとします。

被害を防ぐには、一人でも多くの方にこの犯罪の手口を知ってもらうことが大事です。山口県警察が作成した防犯情報も掲載しますので、ご家族や周囲の方に注意喚起をお願いいたします。

不審な電話があった場合は直ちに警察署に通報してください。

【主な犯行形態】

- 犯人が息子をかたって実家に電話する。
- 声が違うと指摘されたら「風邪をひいている」と説明する。
- 「〇〇高校の同窓会のハガキ届いていない？」と尋ね、さらに「投資で儲かったので配当金をお母さんの口座に入れさせてほしい。」と言って口座番号を聞く。
- 後日、息子をかたる者（または証券会社をかたる者）が、「配当金について申告していないので、お金を払わないと国税局に捕まってしまう。このことは誰にも言わないで。お金を用意できないか。」と言う。
- お金を用意したら「弁護士事務所の人が受け取りに行く。」と言い、別の犯人が実家を訪問して、お金を受け取り騙し取る。

【実際の被害事例】山口県警のホームページから引用

8月12日、宇部市内の女性（80歳代）方の固定電話に着信があり、息子をかたる男から「俺宛てに同窓会の案内届いていないか。」などと言われた。

その後、8月14日、息子をかたる男から再度電話があり、「株で儲かってたくさん収入が入ったんだけど、その税金を払ってなかったから、お金を用意できないと裁判になってしまう。」「代理の人がお金を取りに行くから、その人にお金を渡してほしい。」などと言われ、話の内容を信じた同女性が、同日、自宅付近の路上において、息子の代理人を装った男に現金130万円を手渡し、だまし取られたもの。